



嘉島町議会
第16号

平成27年8月14日



議会だより



おいしいお米ができますように！（上六嘉地内）

6月定例会

目次

6月定例会 2

町政のここが聞きたい一般質問(4名) 3~6

常任委員会研修報告 7~8

一部事務組合議会報告 9

主な議会活動 9

「声」 10

平成27年第2回
6月定例会
6月5日～8日

報告4件ほか、専決処分、補正予算、条例改正、固定資産評価審査委員会の委員の選任など9議案が提案され原案どおり承認、可決及び同意されました。

報告

- 平成26年度嘉島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
 - ・2億7457万8千円を27年度へ繰越
- 平成26年度嘉島町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
 - ・6700万円を27年度へ繰越
- 平成26年度嘉島町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
 - ・1億7251万1千円を27年度へ繰越
- 専決処分の報告について
 - ・嘉島町運動公園管理棟建築工事（1工区）請負契約に伴う変更契約

議案審議

承認及び可決された議案

- 専決処分の報告並びに承認を求めることについて
専議第1号 平成26年度嘉島町一般会計補正予算（第8号）
 - ・既定の歳入歳出に9875万3千円を追加し、歳入歳出総額を39億3489万1千円としたもの
- 専決処分の報告並びに承認を求めることについて
専議第2号 嘉島町税条例等の一部を改正する条例の制定について
 - ・地方税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部改正等に伴い本条例を制定
- 専決処分の報告並びに承認を求めることについて
専議第3号 嘉島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・地方税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部改正等に伴い本条例を制定
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 - ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、関係条例を整理するもので文言整理が主なもの
- 教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について
 - ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育長の職務に専念する義務の特例に関し本条例を制定
- 嘉島町総合運動公園野球場の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について
 - ・嘉島町総合運動公園野球場の設置及び管理に関する条例から嘉島町総合運動公園の設置及び管理に関する条例に題名を改め、野球場、多目的競技場及び管理棟を一体的にする等が主なもの
- 平成27年度嘉島町一般会計補正予算（第1号）
 - ・既定の歳入歳出予算に1715万円を追加し、歳入歳出総額を41億5729万2千円としたもの

同意案件

同意された案件

- 固定資産評価審査委員会の委員の選任に付き同意を求めることについて
中島 敬也氏（三郎無田）
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任に付き同意を求めることについて
淵上 昭六氏（西 村）

一般質問



中津 芳春 議員

問 バス・タクシー券の支給年齢の変更に
ついて

70歳になって、バス・タクシー券が支給されることを楽しみにしておられた町民の方も多く、車をもっておられない方は特に期待しておられました。事前の説明が必要だったと思いますが、当局の考えをお尋ねします。また、支給年齢の引き上げに伴いどのくらい節約になるのでしょうか。

答 町民課長

嘉島町高齢者バス・タクシー優待乗車証交付事業は、平成14年より「かしまカード」として、70歳以上の高齢者に年間1万円分のバス・タクシー券を交付し、実施してまいりました。70歳以上の人口が平成14年、1427人、平成27年

1773人と、この12年間で346人増えました。利用額は、平成14年度約900万円、平成26年度約1300万円と、この12年間で、約400万円増加しております。なお、町内の70歳以上の自動車運転免許証取得者は、平成16年524人であったのが平成26年12月現在848人と、この10年間で324人増加しており、高齢化とともに

に、元気で運転できる高齢者が増えているものと推察されます。このような状況の中、平成27年度事業見直しにより、交付対象者を段階的に引き上げることを決定しました。

事前説明会は実施しておりませんが、町民の皆様を理解を得ることが必要と思いい、広報かしま3月号に「対象者年齢見直しのお知らせ」の折り込みを入れて、全世帯に配布し、周知を図ったところですが、今後は、早い時期に周知を行っていきたくと考えています。

次に、「この支給年齢の引き上げに伴いどのくらい節約になるのか」というか、平成27年度に70歳をむか

えられる方が83人、予算額で83万円、28年度に66人で149万円、以降31年度までに532万円が段階的に節約でき、予算額としまして5年間の総額1430万円を節約することが可能であると判断できます。利用されない方もおられますので、正確な数字は決算で把握していきたいと考えております。

問 鯉森崎橋線について
(都市計画道路)

議会だより第14号で建設課長が、この鯉森崎橋線が計画通り進んでいない理由を述べておられますが、はつきりわかりません。町は計画を進めようと考えておられますか。町の5ヶ年計画にも入っていませんのでお尋ねします。

答 建設課長

鯉森崎橋線の大半は住家の建ち並ぶ鯉地区を縦断する路線計画であり、土地区画整理事業や別手法の事業によって整備を進めたところ、家屋の移転補償や道路築造費などに多大な費用が必要となります。東部台土地地区画整理事業などが始

まり、町の予算配分が厳しい現実で、かつ、道路事業に対する国の補助が少なくなっているのが現状です。今後、国の政策動向を見ながら整備手法や整備計画など考え、国の補助など財政の裏付けを確保しつつ進めていかねばならないと考えます。また、地元住民の意向を集約しながら慎重に計画を進めたいと思います。

問 農業生産法人設立について

平成27年度内に農家の方々から広域農場設立についての判断を得て28年度農業生産法人設立という予定だと聞いていますが見通しはどうかお尋ねします。又、規模拡大してどのくらい経費が削減できるか。価格競争に耐えられる米1俵の価格はいくらぐらいと考えておられるか。

答 農政課長

昨年10月に営農組合役員と組合未加入の大規模農家に各集落嘱託員、県、JA、町を加えた「嘉島町広域農場推進検討会」を立ち上げて検討を行い、今年2月、3月に広域農場設立集落座談

会を開催して、農家の方々に町の農業の現状、法人化がなぜ必要なのか、何が変わるのかなどを説明し、農家の方々の意見を聞いたところで、この農家の方々の意見等も踏まえ、先月5月18日の推進検討会において各集落の推薦委員で構成する「かしま広域農場農業生産法人設立準備委員会」を設置することとし、来年の平成28年3月末に「(仮称)かしま広域農場農業生産法人」設立総会を開催し、5月頃までに法人登記を行うことを目標とすることに決定されました。

お尋ねの経費削減については、300ha規模の広域農業生産法人を設立した場合、今後は農業機械更新を個人では行わず法人で更新することにより、水稲経営では、10a当たり生産費における農業機械減価償却費が個人では18000円、広域法人では39000円と試算し、約14000円ほどを削減できるのではと検討会では考えました。広域法人では、農地を法人に貸し付けた構成員が、法人から管理指示を受け

可能な限り自分で農作

業を行うことを想定しておりますので、機械減価償却費以外の生産費等の経費は、ほとんど変わらないのではと考えています。詳細な組織作りについては、広域農場農業生産法人設立準備委員会で検討・協議され、価格競争に耐えられる米1俵の価格等についても、その中で検討されると思います。

経営所得安定対策についても、国の政策転換により、麦・大豆等畑作物交付金の交付対象者が、販売目的で対象作物を生産する販売農家、集落営農であれば良かったのが、今年度以降は、認定農業者と認定新規就農者並びに農地集積・法人化が確実な集落営農組織に変わりましたので、交付金受給の面からも集落営農組織の法人化は必要と考えます。

町としても上益城農協・県とともに法人設立を支援し、農家の方々の意見も聞きながら広域農場農業生産法人の実現を目指していく考えです。



森田 義雄 議員

問 蛍光灯式街路灯からLED式街路灯に交換する場合の定額助成について

街路灯の新設については、全額町の負担で実施されており、現在設置されている街路灯の殆どは蛍光灯式で、交換用の蛍光管も町から無償で配布されているが、蛍光灯式は、現在は生産されていないということも聞いている。故障等で使用不能になった場合、LED式に全額区の負担で交換されておりますが、非常に高額なため、町からの定額助成の考えはないか、また環境への負荷の低減を図る上から、定額助成により、LED式に逐次変更する計画はないか

答 総務課長

地域の生活道路の防犯灯は、各区の要望を受け町が設置し、管理及び補修等は地元区にお願いしております。町としても、長期的にみますとLED式の方が環境面や経済面から有利と判断しておりますが、当面は老朽化したものを交換する際や新規に設置する際に、予算の範囲内でLED化していきたいと思っておりますが、定額助成については考えていない。ただ、落雷や台風等の自然災害により一定規模以上の被害があった時には、状況に応じ対応を検討したい。また、LED式に逐次変更することについては、環境面や住民の安全・安心の向上のためには早急な整備が望ましいと思うが、一定期間内に全てをLED化するには相当の経費を要するの

答 弁を受けて

落雷や台風などの自然災害により、一定規模以上の被害の際には、状況に応じて対応を検討するとのことで、是非実施して頂きたい。また、通常の故障による交換については、定額助成は考えていないとのことだが、こちらについても検討いた

それから、LED式に逐次変更することについては、現在使用可能な物を交換するのは、無駄もあると思われるし、財政状況も厳しいことは充分分かっているが、少しでも良い地球環境を後世に引き継いでいくためにも、古い器具から年間にも、古い器具から年間にも、50〜60灯づつでもいいので、長期計画での変更ができないか、前向きな検討をお願いしたい。

問 消防団員のサラリーマン化に伴うOB団員の活用について

5月号の「広報かしま」によると、町民の安全・安心を守る消防団員

は総勢368名(定員393名)で、その内の60・1%が会社員とのことである。団員のサラリーマン化が進み、昼間に不在となる団員が増えていることを懸念されている町民の方も多いのではないかと思われる。そこで、昼間に火災等が発生した場合に活動できるOB団員を、一定の条件の下で活用される考えはないか

答 総務課長

過去に町内で、昼間に火災等が発生した際においては、一定の出動団員数は確保されており、また、各区の自主防災組織などの協力もあり、大きな支障はなかったが、サラリーマン団員は今後も増えていくことが予想されるので、住民の安全・安心の向上のためにも、自主防災組織との連携強化を図りたい。それから、常備消防の上益城消防本部が国道445号線沿いに移転予定ですので、本町までの出動時間が短縮され、安全度は従前に比べ、かなり向上するものと思っております。「OB団員を一定の条件の下での活用については、現行の条例では、団員の年齢の上限は定めておりませんので、今後の団員確保のため昼間町内で活動可能なOBの方などの入団も考慮したいと思えます。また、北甘木区の自主的・先進的な取り組みとして、OBの方を消防団の補助員として組織されておりまして、今後町全体としての参考とさせていただきます。

答 弁を受けて

過去の昼間の火災では、一定の出動団員数が確保され、大きな支障はなかったとの事であるが、団員の8割以上がサラリーマンで、その殆どが町外勤務ではないかとの思いがある。今後も、その傾向は変わらないのではないかと思う。これは本町に限ったことではないと考えるが、そこで、「OB団員を、一定の条件の下での活用」についてだが、質問内容が具体的でなかったかと思うが、昼間に活動可能なOB団員を再び消防団に入団させるということではなく、「日常地域において仕事をされているOBの方や、勤めをやめられたOBの方に、活動範囲を居住区などの狭い地域に限り、また、本人の体力に応じた年齢まで活動してもらうことが出来ないか」との想いで質問した。

常備消防の上益城消防本部が国道445号線沿いに移転予定であり、本町までの出動時間が短縮され、安全度は向上すること、また、各区の自主防災組織などの協力もあつているとのことであり、区長さん方とも協議して、自主防災組織との連携強化をしていきたいとのことであるので、自主防災組織の中に、OB団員の位置づけを明確にしてもらい、より一層の連携強化を図り、町民の方々が安心できる様な体制づくりをお願いしたい。

一般質問



鍋田 平 議員

問 図書館の本の充実について

図書室は低学年対象の本が多く、住民の皆様から読みたい本が少ないとの声を聞きます。つきましては幅広い年齢層の本を揃えてほしい。なお、予算面で厳しいなら、ふるさと納税等を活用した図書購入を検討して頂きたい。



答 社会教育課長

これまで図書の購入にあたりましては、町の取り組みとしまして、幼少の頃より本に親しんでもらえる環境を整備しますと共に、生涯に渡って本を読む習慣を醸成していく事を念頭に進めております。今年度は、図書購入に50万円を計上しており、今後、定期的に購入を進めて参ります。一般図書につきましても、利用者のリクエストや分野別の新刊書を参考にしながら、より多くの町民の方々に利用して頂けるよう努め購入を行いたいと考えています。なお、ふるさと納税につきましても、これまで教育分野への活用を要望され納税頂きました額が10万円程ございます。今後、関係課と連携を密にし、より良い活用を図りたいと考えております。

問 今後の学校給食センターの整備衛生環境について

平成26年9月の第3回定例議会で「学校給食センター」は昭和53年度に建設され老朽化しているが、国が示している衛生基準には完全と言えないが、できる範囲適切な対応で、安全・安心な美味しい学校給食の提供に努力している。今後、老朽化問題は計画的に進めたい」と回答頂いたが、今後の計画を尋ねたい。

答 学校教育課長

今後の計画についてのお尋ねですが、昨年9月の定例議会でお答えしましたが、36年を経過した施設であるため、いろいろな工夫・努力をしながら、毎日、スタッフが安全・安心でおいしい給食の提供に努めているところです。

ご指摘のように、今後の計画についてでございますが、東部台地をはじめとします区画整理事業等により、今後も児童生徒数の増加が見込まれる

問 町道の危険箇所について

上島農業水路「いびのしり」下流の「あさがお」付近の町道は路肩が崩れ、えぐられている状況です。

このまま放置すれば、ますます路肩が崩れ、離合時に自動車等が水路に落ちる危険がありますので、早急に対応をお願い出来ないか尋ねます。

答 建設課長

ご指摘の箇所は、以前にもご質問があり、水路は嘉島中央土地改良区と糸田堰土地改良区が管理する水路であります。町道に並行している水路が大きくまたみ水路であるため大雨時などに法面が侵食され路肩が崩れている状況であります。

道路に隣接する水路の改修が優先され、併せて路肩と法面を補修することが最も効率的な整備と考えておりますが、管理者である嘉島中央土地改良区及び糸田堰土地改良区において、現時点では改修などの整備計画がない状況であります。しかし、水路の機能向上、安全に通行できる道路構造を確保するためにも同土地改良区に水路の整備を働きかけるとともに、連携して路肩及び法面の補修を検討したいと考えております。



いびのしり下流



富山 勝 議員

問 県道六嘉秋津新町線からの雨水排水改善について

県道六嘉秋津新町線の雨水排水が、上六嘉地区用排水路へ流れているが、県の排水路が不備なのか雨季に大量の雨水が溜まり、宅地及び耕作地への被害が出ている状況です。又、同県道の別の箇所でも破損している箇所も見受けられる。以前から、町から県への改善策、修理の要望をお願いしているが、その後の状況についてお尋ねしたい。

答 建設課長

現在、県道六嘉秋津新町線の路面排水が道路側溝を通して上六嘉地区の水路に流入している状況であり、排水の改善について、又、維持補修につ



県道六嘉秋津新町線排水口

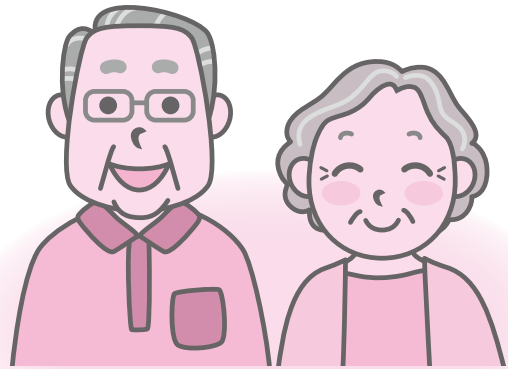
いて道路管理者である熊本県にこれまでも要望してきましたが、今年5月にも降雨時の排水状況を現場で確認し、改めて排水の改善についての要望を行ったところです。道路管理者である県の事業であり具体的な時期は明確ではありませんが、現在は排水先を確保するため関係機関と協議をおこなっている報告を受けており、引き続き状況がわかり次第、報告したいと考えております。

問 町の高齢者健康対策について

他県では介護保険料改善のため、健康運動委員の講習等によって介護費を受ける人が少なくなり、介護給付費抑制に繋がる事を知りましたが、町の介護給付費抑制対策は又、現在の介護給付費の状況についてお尋ねしたい。

答 町民課長

現在の介護保険サービス総給付費の状況につきまして、平成25年度が、5億8491万2千円、平成26年度の決算見込み額として、6億700万8千円であり、2209万6千円増加すると見込まれております。なお、現在の本町における介護の状況につきまして、国、県及び同規模平均では、介護保険の認定率は、低いものの、1件あたりの介護給付費は、国、県より高く、要介護認定ありの方の医療費は、国、県と比較してかなり高いとの統計データが出ております。また、



問 町の下水道工事について

現在、町の下水道工事が行われた後に舗装復旧箇所以外で、町道の痛んでいる箇所及び砂利敷のままの所もあるが今後の対策について予算関係もあると思いますが、お尋ねします。

答 建設課長

今後におきましても、給付費は伸びが予測されており、要因として65歳以上の高齢者人口の増加が予測され、また、新たな介護サービス事業の開始などがあげられます。なお、今年度からの介護保険料の基準月額を4700円と設定しており、県内平均の5684円を下回っており、県内の45市町村の中で一番安い設定となっております。次に介護給付費抑制対策については、今後の介護予防などの取り組みにより、この伸びを抑制することが可能であると考えられます。現在実施しております、らくらく教室やさんさん教室、地域サロン活動の推進、また、これまで取り組んできた生活習慣病対策に加えて、高齢者の生活機能の低下を防ぐロコモーショントレーニング等を取り入れ、健康長寿を目指し、保健、医療、介護が連携し実践していきたくと考えております。

掘削部分に影響部分を加えた範囲について復旧することとなっております。下水道工事の範囲外での老朽化した舗装補修については、道路事業における維持補修により対応している状況であります。また、未復旧で砂利道のままの箇所につきましては、軟弱地盤であり沈下を防ぐため安定期間において舗装工事を行う予定です。

今後はより下水道工事と維持補修工事との連携を図りながら、道路管理に努めてまいります。

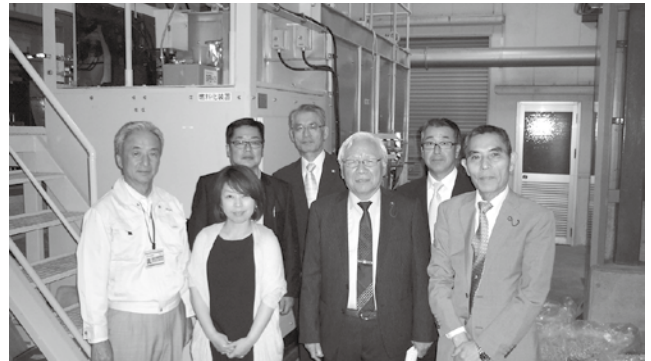
[研修者] (委員長) 富山 勝 (副委員長) 森田 義雄 (委員) 川野 伸一
 ◎期 日 平成27年5月18日(月曜日)～5月20日(水曜日)

○1日目 5月18日(月曜日) 研修先：鳥取県伯耆町

・研修事項 可燃ごみの減量化の取り組みについて

町内の病院や老人介護施設、保育所から排出される「紙おむつ」を回集し、特殊処理(ペレット燃料化)して町営温泉施設のボイラー燃料として供給することで、町内で排出される「紙おむつ」の2割(約400kg)を減量化している。

また家庭からのごみを減らすために、畑地のない地域に大型ごみ処理機を貸出し、出来た肥料(液肥)を公園内の花壇等に散布している。(畑地のある地域にはコンポストの設置の推進)さらに、水分を除去して燃料費を抑えるため希望する世帯に水切りバケツの配付をしている。



伯耆町清掃センター

○3日目 5月20日(水曜日) 研修先：広島県府中町

・研修事項 ①下水道事業について

府中町は、東洋工業の企業城下町として栄え、人口も51,000人を超えており昭和60年から下水道事業(広島市と安芸郡4町による流域下水道)に着手し、平成27年度での完成を目指している。下水道への加入率は約91%で、使用料の収納率は99%、加入促進のため、供用開始後3年以上経過した家屋所有者を戸別訪問して接続のお願いをしている。また、4年以上には督促状を5年以上には催促状を送付している。

・研修事項 ②広島市と合併せずに単独を選択した経緯について



府中町議会会議室

昭和45年に広島市から合併の申し入れがあり、翌年に当時の町長が合併の方針を表明したが、町長のリコール運動が起こり町長は辞職した。直後に実施された町長選挙において、合併反対派の候補者が当選し、正式に合併はしないと広島市に断った。その後も歴代の広島市長が幾度となく合併要請のため来庁されているが、歴代の町長も合併要請を拒否し続け現在に至っている。今後は、単独で市に移行するか町のままでいくのかを検討していくとのことであった。

<まとめ>

※ 本町においても、ごみの減量化のため平成5年からリサイクル事業に取り組み、また、分別収集にも努めているが、思うように減量化は進まず、家庭から出されるごみ(一般廃棄物)の1人当たりの量は、平成17年度から県内市町村の中でひと桁の順位で推移し、事業系ごみを含めた1人当たりの量は、平成18年度からワースト1という不名誉な状態が続いている。これは、人口に比して事業所が多いこともあるが、ごみの1人当たりの排出量が多いのは否定できない事実であり、今後はひとり一人が減量化に努めるべきである。

下水道事業についても、平成14年度に事業着手し、平成17年度に供用開始、現在も管渠整備が実施され、当初処理計画区域の約半分の整備が完了しているが、今後新たに区画整理事業される区域を編入することになると、長い時間と多額の事業費が必要になる。事業を安定的に進めるため、下水道への加入促進を図ることが重要な課題である。

また、研修2日目は自主研修として昨年の8月集中豪雨により土砂災害が発生した広島市安佐南区の被災地を視察した。

総務常任委員会研修報告書

[研修者] (委員長) 宮本 睦生 (副委員長) 境野 隆文 (委員) 川上 國治 (委員) 春日 堅一
 ◎期 日 平成27年5月12日(火曜日)～5月14日(木曜日)

○研修先：千葉県香取郡多古町

・研修事項1

幼児教育の推進及び学校教育の取り組みについて

多古町の歴史は、縄文・弥生時代に始まり、飛鳥時代から平安時代にかけて、各地に神社・仏閣が建立され、これを中心として開けた。

人口15,305人 世帯数5,711世帯(平成27年5月1日現在)の町である。

幼児教育の推進として、多古こども園を視察。

昭和29年に多古幼稚園の運営を開始し、その後、常盤幼稚園(昭和33年)、中幼稚園(昭和34年)、大門幼稚園(昭和39年、その後は久賀幼稚園)とあわせて4園の運営を行っていた。また保育所事業においても、昭和51年に多古中央保育所、多古東保育所(昭和54年)、多古北保育所(昭和57年)の3所で保育事業を行っていた。当時は、財政的にも好景気時代の中で、幼稚園・保育所とも十分な集団規模の園児・入所児を確保することができたが、社会経済状況の変化や出生率の低下とともに、子どもを取り巻く環境や生活形態は大きく変わり、さらに地方分権と規制緩和などの大きな波も加わり、幼稚園と保育所をめぐる新たな変化があらわれた。そこで、少子化

や施設の老朽化及び耐震化の必要性から、就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の充実を図るため、幼保一元化の施策と施設整備の方向性を検討し現在に至っている。

今回、多古こども園が計画から開園までに至った経緯の中で幼稚園(4園)・保育所(3所)がすべて、町運営であったことが良かったと思われま

す。また、行政が一丸となりこどもの教育に力をいれ、子育て支援を応援していることに深く感銘したところであり、本町もより一層の子育て支援事業に力をいれて頑張らなければと思いました。



研修終了後多古町菅澤議長と



多古こども園

○研修先：千葉県香取郡神崎町

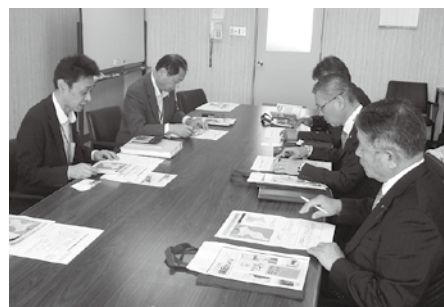
・研修事項2 健全な財政運営について

神崎町は、昭和30年に旧神崎町と米沢村が合併して、今年で60年という節目の町であり、酒、みそ、しょうゆなどの発酵食品づくりが盛んで、「発酵の里」として発展している。

人口6,354人 世帯数2,380世帯(平成27年4月1日現在)千葉県内では一番人口が少なく高齢化率30.5%(65歳以上)の町である。

健全な財政運営ということで、10年前(平成17年)より経費削減・職員削減を町長、議会、職員を中心に行ってこられたが、貴町の財政事情として歳入全体で町税が22%しかなく財政が乏しいとの事です。また、歳入の自主財源と経常的経費の差が少ないということが財政の健全性の一つになることから、歳出の経常的経費をどれだけ減らすことができるかあるいは、歳入の自主財源をどれだけ増やすことができるかが課題と言われてます。

本町においても、今一度襟をただし将来に向け健全な財政運営に取り組まなければならないと思いました。



神崎町議会会議室

一部事務組合議会報告

上益城消防組合議会

議会報告 平成27年 第1回 臨時議会（平成27年5月27日開催）

同意案1件、付議事件1件（物品購入契約の締結）が提案され、原案のとおりにより同意及び可決され、副議長選挙については、境野隆文議員が推挙されました。

益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会

議会報告 平成27年 第1回 臨時議会（平成27年6月3日開催）

専決処分承認1件、同意案1件（監査委員の選任）が提案され、原案のとおりにより承認及び同意され、議長選挙については木下徹議員が推挙されました。また、監査委員の選任については、嘉島町代表監査委員の増岡司氏が選任されました。

御船地区衛生施設組合議会

議会報告 平成27年 第1回 臨時議会（平成27年5月26日開催）

同意案2件（監査委員の選任）が提案され、原案のとおりにより同意され、副議長選挙については、森田義雄議員が推挙されました。

上益城広域連合議会

議会報告 平成27年 第1回 臨時議会（平成27年6月26日開催）

正副議長の選挙があり、議長に山都町議会議長（中村一喜男氏）副議長に御船町議会議長（井本昭光氏）が推挙されました。

主な議会活動 （平成27年5月から6月まで）

| 月 日 | 項 目 | 場 所 等 |
|-------------|---------------------------------------|----------------------|
| 5月 7日 | まちづくり基金運営委員会及び水の郷まつり実行委員会（議長） | 役場庁議室 |
| 5月10日 | 緑川水防演習（議長） | 浜戸川下流左岸河川敷 |
| 5月11日 | 春の交通安全運動御船署管内4町合同出発式（全議員） | 町民会館 |
| 5月14日～16日 | 総務常任委員会行政視察 | 千葉県：多古町 千葉県：神崎町ほか |
| 5月15日 | 例月現金出納検査（清崎議選監査委員） 上益城郡町村議会議長会臨時会議 | 監査委員室 甲佐町 |
| 5月17日 | 中学校体育祭（全議員） | 嘉島中学校 |
| 5月18日～20日 | 建設常任委員会行政視察 | 鳥取県：伯耆町 広島県：府中町ほか |
| 5月19日 | 加勢川改修期成会総会及び地域高規格熊本環状道路建設促進期成会総会（議長） | KKRホテル熊本 |
| 5月21日 | 九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会熊本県側理事会（議長） | 御船町 |
| 5月22日 | 町村議会議長研修会 | 県市町村自治会館 |
| 5月23日 | 東西小学校体育祭（全議員） | 東小学校・西小学校 |
| 5月25日 | 議会運営委員会 | 役場庁議室 |
| 5月26日 | 御船地区衛生施設組合議会第1回臨時会（森田・春日） | 組合事務所 |
| 5月26日～27日 | 第40回町村議会議長・副議長研修会 | 中野サンプラザホール |
| 5月27日 | 上益城消防組合議会第1回臨時会 | 組合事務所 |
| 5月29日 | 上益城郡監査委員連絡協議会総会（清崎） | 御船町 |
| 5月30日 | 第1回熊本中央広域事務協議会（議長・木下・本田） | 甲佐町 |
| 6月 1日 | 九州中央自動車道建設促進期成会総会（議長） | 山都町 |
| 6月 2日 | 嘉島町公民館運営審議会（議長） 町村議会議長会臨時総会（議長） | 町民会館 県市町村自治会館 |
| 6月 3日 | 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会第1回臨時会（木下・鍋田） | 組合事務所 |
| 6月 4日 | 上益城郡社会教育委員連絡協議会大会（正副議長・各常任委員長） | 町民体育館 |
| 6月 5日～8日 | 嘉島町議会平成26年第2回定例会 全員協議会 | 役場議会議場 議員控室 |
| 6月15日 | 松前記念館運営委員会（議長） | 嘉島町 |
| 6月16日 | 例月現金出納検査（清崎議選監査委員） | 監査委員室 |
| 6月19日～7月31日 | 広報特別委員会（第16号・編集会議） | 第1回～第4回 |
| 6月22日 | 第1回熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会（議長・木下・森田） | 上益城地域振興局 |
| 6月23日 | 社会を明るくする運動実行委員会（議長） | 役場3階中会議室 |
| 6月25日 | 上益城農協通常総代会（議長） | 御船町 |
| 6月26日 | 上益城広域連合組合議会臨時会（議長・清崎） | 福祉センター |
| 6月29日 | 御船地区防犯協会連合会評議委員会（議長） | 御船町 |

「声」 戦後70年を振り返って



前田 武夫 (滝河原)

戦後70年を迎えようとしています。今日まで振り返ってみますといろんな思い出があり、特に強く記憶に残っていることを記してみたいと思います。

それは、終戦直前に空襲に遭遇したこと。終戦が近まったころの出来ごとですが、米軍の空母艦載機から機銃掃射に遭い、危ういとこ難を逃れ命拾いをしたことです。

終戦の昭和20年8月15日の5日前、8月10日午前のことです。

母や親戚の人から聞いたのですが、この日、熊本空襲での余波と思われるが、我が旧大島村一帯でも米軍空母艦載機からの空襲があったそうです。私は当時上島地区の母の実家に身を寄せていました。当時6歳になる姉が玄関先から顔を出したとき、上空を旋回していた艦載機の機銃掃射に遭ったそうです。

その機銃の弾道は、玄関の鴨居をかすり、和タンス正面を斜めに貫通後8畳仏壇に停弾しているのを発見したもので、当時私は4歳で記憶として残っています。

後年、玄関の弾痕、タンスの貫通痕、そして仏壇に停弾した位置関係を見ると、機銃

掃射の発射時間角度等が若干ずれていた。当時仏壇の背後に居た私は、その機銃の犠牲になつていたかも知れません。貫通したタンスについては、その部分を切り取り現在も保管しています。

丁度そのころ、高田地区でも艦載機の空襲にあり、その自宅前で祖母の弟が機銃掃射に遭い、その弾丸の犠牲になつたことを後で聞きました。そのときの弾丸は現在もその自宅で保存してありますが、大きさは大人の小指大であり私が銃撃を受けた弾丸とほぼ同じで、同一機銃から発射されたものと思われる。



・直径11ミリ ・長さ47ミリ

このように、終戦直前に

① 我が嘉島町でも艦載機からの空襲があったこと。
② 艦載機から機銃掃射を受け、村民一人がその犠牲になつたこと。

等、今年も、戦後70年を迎えますが、当嘉島町内でも戦争犠牲者があつたことを知って頂ければと思います。今回寄稿致しました。

募集しています。【みなさんの意見などお聞かせ下さい。】

議会の事など、ご意見をお寄せ下さい。
又、議会だよりの「声」も募集しております。

※次の議会は、**9月**に開催予定です。

議会の傍聴は議会当日に手続きすれば、どなたでも傍聴できます。

「声」の募集先や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局(237-1111)へご連絡ください。

編集後記

朝、近所の小学生が大きな声で挨拶してくれます。とても気持ちがいいなと感じています。元気に育つてね。(宮本)

暑さ増す日々に議会だよりを町民の皆様に分かりやすい情報に努めて発行努力致しました。(富山)

今年の梅雨は、よく雨が降りましたが、災害もなく感謝です。暑い日が続きますが、体調管理に気を配ってお過ごし下さい。(森田)

梅雨に入り雨が続き、収穫できなかった麦が町内で40haもでた。これは単に天候のせいだけだろうか？
麦を鋤き込む農家の人の気持ちを考えて心が痛む。(中津)

猛暑の夏がやってきました。熱中症には十分注意され、水分は十分に摂りましょう。(春日)

発行責任者/議長 川上國治

| | |
|------|------|
| 委員長 | 宮本睦生 |
| 副委員長 | 富山勝 |
| 委員 | 木下徹 |
| 委員 | 森田義雄 |
| 委員 | 中津芳春 |
| 委員 | 春日堅一 |